



前田珠さんの作業現場を訪ねると「お疲れ様です。」と元気な声が聞こえてきた。声の主はもちろん前田珠さん。大根占地区でビルなどの清掃管理業を営む二代目社長だ。

珠さんは、高校卒業後、東京の会社に勤めていたが平成9年から実家の家業を手伝い始めた。「特に継ごうと思っただけではないんです。一度、家業を手伝いながらゆっくり自分の人生を見直すつもりだったんです。」と話した。続けて「有限会社にする時に父と話合せて私が代表になりました。」と当時を振り返った。当時は、営業に行くとき『女が来たけど大丈夫か?』と不安がられたという。珠さんは悔しさをこらえながら仕事ぶりで信用を勝ち取っていた。

From young people in the future

錦江に生きる

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第39回目は、麓自治会の前田珠さんです。

◎39人目

まえだ 前田

たまき 珠

さん【麓自治会】



丁寧に、丁寧に作業を進める珠さん。

ます。今の目標は、地域のみなが知っている会社になりたい。地元重視の地域密着型の会社にしていきたいです。」と力強く話した。続けて「仕事の都合で、土日の地域活動などに参加できないことがあるんです。それが残念で…」と少し寂しそうな表情を浮かべた。

珠さんの趣味は食事と映画鑑賞。食事は「いろいろな処に食べに行くのが楽しみ。」と茶目つ気たつぷりに笑った。しかし、それよりも楽しみなのは仕事が終わった後に『ありがとう。』きれいな言葉に『お客さんの顔なのだそう。』お客さんが喜んでくれるのがとてもうれしい。この仕事について良かったかどうかは、まだわからないかもしれないけれど、お客さんの喜ぶ顔を見ると、この仕事

をやって良かった。と思うし、やりがいを感じる。」と嬉しそうに話した。珠さんの元気の源はお客さんの笑顔なんだと感じた。

最後に一言お願いすると「掃除の仕事は簡単に見えるけど奥が深いんです。同じ現場は無いですし、毎日新しい発見があるんです。錦江町にも新しい発見はいっぱいあると思います。素晴らしい資源もたくさんあるのに活かされてない。とてももったいないと思います。花瀬川の石畳を活かした『やまんなか音楽会』など素晴らしいイベントなどもあるので、役場と地域が一体となつて頑張っていけば錦江町はもっともっと素晴らしい町になっていくと思います。力を合わせて頑張っていきたいと思います。」と話した。仕事のこと、これからの錦江町のことも真剣に考える姿に、珠さんの熱い気持ち伝わってきた。

珠さんは、仕事にも遊びにも一生懸命なパワフルウーマンだった。

編集後記

●熱中症のニュースが今なお絶えません。熱中症は、最悪死に至る可能性があります。少しづつ涼しくなつてはきているものの、まだまだ油断せず、水分補給など予防に努めましょう。

●先日、とある自動販売機でペットボトルのお茶を購入しました。通常150円のところ今だけ130円。しかし、出てきたのは通常110円で販売しているペットボトルの水でした。20円返せ!

●「マスターズ甲子園」。高校野球OBが各学校ごとに「もう一度夢の甲子園を目指す」大会があります。全国的な大会で認知度もそれなりに高くなつてきています。ある新聞記事で「お父さんの甲子園」という記事がありました。その中で「山口生涯?きゅうじい?球爺S?」という平均年齢75歳のチームが載っていました。メンバーは癌などさまざまな病気と闘いながら甲子園を目指しているとのことでした。病気に負けない心。夢を諦めない心。いろいろなことを教えられるような気持ちがありました。



発行／錦江町役場

編集／企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

ホームページ／http://www.town.kinko.lg.jp/ 印刷／(有)南大隅新生社印刷

